

## 令和6年度 授業改善推進プラン教科別計画 【音楽科】

学年	作成者	現状分析による課題	具体的な改善策 「いつまでに」・「どのように」・「どの程度」	
			短期的な改善策	中・長期的な改善策
1年	小幡	①授業に対する意欲関心態度、歌唱表現や技能は、個人やクラスの雰囲気によって差が生まれている。学年全体としては歌うことが好きな生徒もいるが、小学校では合奏の授業が多く歌うことへの抵抗感やマスクをなかなか外せない生徒もいる。 ②読譜力や音楽記号について、小6までに学習しているはずのものが、身につけていない。まずは譜読みの力をつけさせたい。	①歌唱については発声や歌詞の表現などを中心に、周囲の音程やハーモニーを聴き取り、合わせられるように各自の歌唱技能や表現に繋げられるように指導していく。 ①②鑑賞に関しては、3学期等の学習とともに日本の音楽についても触れていく。 ②読譜力については2学期後半からタブレットを使った創作活動で、まず始めに音符や休符のリズムを把握し、作曲、演奏ができるように指導していく。	①年々ピアノ伴奏ができる生徒が少なく危惧している。本校だけでなく、どの学校でも起こり得る課題と感じている。今年度より合唱コンクールの課題曲は廃止し学年合唱に変えた。今はBoy Sopranoの生徒が多いが、男声は変声期が終わるにつれ、歌うコツがわかり始めると声が出しやすくなっていく。逆に女声は人数が少ないので、声量が出にくい。最近の生徒は中性化が叫ばれ低音を出せる生徒が少ない。選曲も含めて大きな課題と受け止め、発声法や指導法を模索していく。 ②楽曲の演奏や創作活動を通して、授業内で楽典などの基本事項を確認し定着を図る。
2年	長南 小幡	①学年全体として、音や言葉で表すことに苦手意識を感じている傾向があり、クラス差はあるが、歌唱授業では集中して取り組めない生徒も見受けられる。 ②鑑賞は個人的に興味のある音楽はよく聴いているが、創作も含め、音楽の基礎知識が身につけておらず、深く掘り下げて理解しようとする探求心が薄い。	①②表現力を高めるために必要な、知識、技能、発声、読譜力など、上達する手段として何が良いのか事例を出しながら、指導していく。 ②鑑賞に関しては、内容の説明を具体的にし、教科書を読んで曲を聴くだけの鑑賞にならないよう、留意する。	①②常時活動などに、楽典の基礎的・基本事項の確認を行い、それを積み重ね定着を図っていく。学習した内容を実際の演奏場面で活用する場を積極的に設け、基本事項の定着を図っていく。
3年	長南	①おおむねどの活動にも意欲的に取り組むことができているが、記譜するための知識や譜面から読み取る能力については、内容が定着していない生徒が多い。 ②授業に対する意欲や態度には、個人やクラスの差がある。 ③鑑賞については、音楽を形作っている要素が生み出す雰囲気を感じることが難しい。	①②表現活動に関しては、楽典の基礎的・基本事項の確認を改めて行っていく。演奏する際も楽譜に注目させながら、学習内容を活用する場を設けていく。 ③鑑賞に関しては、内容を具体的に説明し、単純に教科書を読んで曲を聴くだけの鑑賞にならないよう、音楽の構造や音楽を形作っている要素に着目できるように留意する。	①②常時活動などに、楽典の基礎的・基本事項の確認を行い、それを積み重ね定着を図っていく。学習した内容を実際の演奏場面で活用する場を積極的に設け、基本事項の定着を図っていく。 ②音や音楽を言葉や文章で表す活動を積極的に設けていく。音楽室に掲示しているヒントとなるような掲示を積極的に活用するよう促していく。